

# 平成24年度第1回出雲市入札制度等監視委員会

## 議事概要

開催日及び場所	平成24年5月22日(火) 14時00分～16時00分 出雲市役所5階 入札室	
委員	委員長 野村 泰弘 (島根大学教授) 委員 河原 莊一郎 (松江工業高等専門学校教授) 周藤 滋 (弁護士) 秦 久光 (出雲市自治会連合会副会長) 横田 笑子 (税理士)	
審議対象期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日	
報告事項	(1) 入札方式別発注工事の状況について (2) 指名停止の運用状況について (3) 低入札価格調査制度の運用状況について (4) 苦情処理の運用状況について (5) その他	
審議事項	抽出案件(3件)	
	一般競争入札	1. 出雲市斐川社会福祉センター四季荘改修建築工事
	指名競争入札	2. 灘分用水路修繕工事 ----- 3. 出雲クリーンセンタートラックスケール更新工事
	備 考	
	抽出の考え方 (抽出担当 周藤委員) ・今回は3つの観点から抽出した。 ① 建設部局でない部局であり、且つ旧斐川町の工事 ② 指名数に比べ応札者が少ない工事 ③ 落札率が低い工事	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

<b>【報告事項について】</b>	
(5) その他	
意見・質問	回 答
<p>① 下半期に発注する工事は、大きな金額は少ないのか。</p> <p>② 建築工事は、上半期に比べ、下半期は落札率が低い、なぜか。</p>	<p>① 大きな金額の工事は、金額に応じた工期を必要となる。年度内に工事を終えるために上半期の発注となる。</p> <p>② 大きな工事の落札率は高い傾向にある。上半期は金額の大きな工事が多く、今回は下半期が対象工事であったのでこのような結果になった。</p>
<b>【審議事項について】</b>	
1) 出雲市斐川社会福祉センター四季荘改修建築工事	
意見・質問	回 答
<p>① この施設は老朽化しているのか、老朽化の判断は、建築年であるのか。</p> <p>② 温泉施設は、数年に1回は大規模な工事をしないと、温泉の成分によって、施設が劣化するのではない、耐久性は大丈夫か。 配管などは、温泉の成分によって影響があると思うが耐用年数はどのくらいか。</p> <p>③ 改修についての統一的な基準はないのか。</p> <p>④ 建築工事の主任技術者とは。また、専任か。</p>	<p>① 四季荘は、昭和53年の建築であるが、老朽化の判断については、維持管理によって度合いが変わる。一概に建築年だけでは判断できない。</p> <p>② 建物について影響は少ないと思われるが、温泉の成分によっては配管内に固定物が溜まる場合もある。また、ろ過設備に影響がある場合もある。一概に耐用年数を決めることはできない。</p> <p>③ それぞれの施設の状況による、一概には言えない。</p> <p>④ 1・2級の建築士、1・2級の建築施工管理士等となる。この工事は専任を要しない。</p>
2) 灘分用水路修繕工事	
意見・質問	回 答
<p>① 1回目の入札は、参加者が1者のため中止したのか。 2回目で辞退者が多いのはどういう理由か。</p> <p>② 業者が多い場合、案内はどのような方法で行っているのか。電子か、到着確認はどうなのか。また、以前は郵送だったのか。</p> <p>③ この工事は何回かに区切って発注する工事か。 分けるねらいはどこにあるのか。</p>	<p>① 指名競争入札は、2者以上の参加が必要となるが、1回目については、1者だけの参加であったため中止した。 2回目については、指名替えを行ったが、施工場所や事務所からの距離などを考慮して、入札辞退が多かったと考えられる。</p> <p>② 電子入札システムを利用して案内している。確認は電子入札システムでできる。以前はファクシミリで案内をしていた。</p> <p>③ 当事業は、平成22年と23年に分けて発注した。経済対策の一環として発注した事業であるため、できるだけ多</p>

<p>④上半期は、とび・土工コンクリート工事の落札率も80パーセントくらいだったが、下半期発注のこの工事は、なぜ入札不調になったのか。</p>	<p>くの業者の受注機会が増えるように配慮した。</p> <p>④2回目入札の落札率は、上半期と同等であった。</p> <p>当工事は、下半期の入札の多い時期の発注であったため、業者が他工事を優先したことが入札辞退の原因と考えられる。</p>
---	---

### 3) 出雲クリーンセンタートラックスケール更新工事

意見・質問	回答
<p>①落札率が低い、最低制限価格を設定していないのか。</p> <p>②落札した業者が、今後の修繕等も行うのか。</p> <p>③メンテナンスはどこがやるのか。</p> <p>④耐用年数はどれくらいか。</p> <p>⑤この工事の、ロードセルはどこかのメーカーか。また、他のメーカーのものは設置できないか。</p> <p>⑥スケールのメーカーということで、指名したのか。</p> <p>⑦平成7年にクリーンセンターが竣工した、当時の設置業者と今回の更新業者は違うのか。</p> <p>⑧応札金額に差異があるがいかがか。</p> <p>⑨落札した会社は、本市での実績があるのか。</p> <p>⑩性能の保証は。他にも入札したことがあるのか。</p> <p>⑪安いと粗悪な工事にならないか。</p>	<p>①この工事については、設定していない。</p> <p>②大規模な修繕工事については、受注業者で行うことになるが、小規模なもので市内業者が行えるものについては、市内業者等で行う。</p> <p>③2年に1回の計量法による検査はあるが、定期的なメンテナンスはない。</p> <p>④立地条件などそれぞれの設置状況等の環境によって異なるなど、一概にはいえない。</p> <p>⑤メーカーが自社で製作している。また、各機器の電子信号の互換性の関係で、他のメーカーのものは設置できない。</p> <p>⑥事前調査をしたところ、メーカーの施工割合・責任が大きいことが判明したため、メーカーを指名した。</p> <p>⑦今回の更新業者とは違う。</p> <p>⑧今回は、受注意思がある業者が価格競争された結果だと思っている。</p> <p>⑨本市の他の廃棄物処理施設に設置している実績がある。</p> <p>⑩業者選定の時に、事前に他の自治体での実績等について調査している。施工及び施工後の機器の状況について良好と確認している。</p> <p>⑪品質を確保するため、納入仕様書等必要書類の提出、機器の検収及び計量法の確認など、国土交通省工事監理指針に従った方法で現場管理を行っている。</p>